

ISSN1348-6772
研究紀要第64集

接続期の教育における学びを探る

～接続期カリキュラム(試案)の作成～



金沢大学 人間社会学域
学校教育学類 附属幼稚園

2018

ま え が き

9月、附属中学校の運動会の日に、中学3年生になった本園の修了生のお母さん達が幼稚園に寄ってくれました。中学生になった修了生の近況を聞いたり、お母さん達の近況を聞いたり、とても楽しい時間を過ごすことができました。幼稚園を修了しても子供も保護者もつながっているという思いを強く感じた時間でした。その中で聞いたとてもうれしいエピソードを紹介します。

TV番組である幼稚園が焼き芋をしている場面を見た中学3年生になったA君・・・「俺らも幼稚園の時、焼き芋したけど、俺らの幼稚園って変わった幼稚園なのかな・・・？この幼稚園、先生が芋を焼いているけど、俺らは自分で焼いたんだよ」と話したそうです。A君が年長組の園児だった時、自分達が苗を植え、収穫したサツマイモで焼き芋やさんごっこをしました。畑の土にまみれたサツマイモを洗い、包丁を使い適当な大きさに切り、それをアルミホイルで包む。いよいよ焼き芋です。火をおこした炭が置かれたU字溝に網をセットし、その上でアルミホイルに包まれた芋を焼くのです。時々子供たちが tong で芋を動かしながら焼き芋をしました。当然のことながら、これらの工程は子供たちだけで行ったのではなく、必ず教師が関わっています。火を使う場面においては特に教師の手が多く入っていたはずです。しかし、中学生になったA君の脳裏には自分達で行った焼き芋が残っているのです。取り組もうとすることに自分で取り組む楽しさを当時年長組だったA君は存分に味わったことで、『自分達でやった』『自分達でできる』ということを学んでいたのだと思います。

本園では、2014年から研究テーマを『幼児期の教育における学びを探る』とし、今年度改訂実施となった幼稚園教育要領や2020年度に改訂実施となる小学校学習指導要領の改訂の趣旨やポイントを見据えて『アクティブ・ラーニング』『幼小連携・接続』を研究内容のキーワードとし研究を行ってまいりました。今年度は教育課程及び指導計画の見直しに加え、幼児期の学びを生かした幼小接続期カリキュラムの試案を幼稚園発信で作成することに試みました。この試案を来年度4月には是非多くの小学校のスタート・カリキュラムに生かしていただき、ピカピカの1年生が幼児期の学びを生かして小学校生活のスタートをきることができるように、また、その姿を支える先生方の指導の一助になればとの思いをもちております。幼稚園発信の試案です。どうか、忌憚のないご意見・ご指導をいただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本園の研究会にご参加いただき、様々なご示唆ご指導をいただきました本学の先生方はじめ、ご多用の中ご来会いただきました皆様に心より御礼を申し上げ、ご挨拶といたします。

平成30年11月

金沢大学人間社会学域学校教育学類附属幼稚園長 上田 ますみ